

樹木粉碎車がやってきます

家庭の庭仕事などで出た剪定枝や木くず、チップとしてリサイクルします。処理を希望する人は、期限までに予約（役場環境保全課窓口か電話）をして、直接、緑のリサイクルセンター（日野総合管理）か下記の場所にお持ちください（戸別収集は行いません）。

- 予約期限 7月21日(金) ●実施日 7月22日(土)
- 費用 無料

※木の根や木の実が付いた枝、竹などは、機械故障の原因になるため、収集できません。

	時間	場所
収集時間 ・ 収集場所	午前9時～9時30分	つつじ台 地域学習センター
	午前9時45分～10時15分	陣内地区公民館
	午前10時30分～11時	大津町役場 庁舎北側駐車場
	午前11時15分～11時45分	美咲野中央公園
直接 持込	午前9時～11時30分	緑のリサイクルセンター (日野総合管理)

地下水保全に貢献しましょう

町では、地下水を蓄えることと節水を目的に、次の設備を設置する場合に補助を行います。なお、設置前の申請が必要です。

■雨水貯留タンク

- 補助条件（令和5年度内に購入分のみ）
  - ・有効貯水量が50リットル以上
  - ・約5年以上耐えられる構造、材質であること
  - ・散水などを行うための機能がある（蛇口がついている）など
- 補助金額上限（※設置に要する費用の2分の1）
  - ・貯留容量 200リットル以上のタンク本体35,000円
  - ・貯留容量 200リットル未満の場合24,000円

■雨水浸透ます

- 補助条件
  - ・排水量の多い雨どいから接続出来る位置に設置すること。
  - ・浸透ますには、雨水以外のものを流入させないこと。
- 補助金額
  - 1基あたり10,000円 ※最大4基まで

ごみ分別大辞典

宅配ボックスとごみボックスは  
区別して配置しましょう！

自宅前に宅配ボックスとごみボックスを配置している場合、ごみを回収する時にどちらにごみが入っているのか判断がつかず、ごみが未回収となったり、収集作業員がやむを得ず宅配ボックスの中身を確認したりする事例が発生しています。これらは意図せず個人情報を見してしまうことにつながり、また、ごみの収集時間が遅れる原因となります。自宅前に2つのボックスを設置する場合は以下の点に気をつけましょう。

- ・ごみボックスと判別できるよう、シールを張るか、文字を入れる。
- ・可能な範囲で、収集日のみ、ごみボックスを設置する。



連載 人権シリーズ  
**輝く人権**

●問い合わせ  
役場人権推進課 人権推進係  
☎096(293)0863

**人権擁護委員が委嘱されました**

人権擁護委員の任期満了により、樋口良久さん（再任・陣内）、松本晴美さん（再任・室）、菊池英二さん（新任・大津）が法務大臣から委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け問題解決のお手伝いや法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるよう啓発活動を行う民間ボランティアです。

樋口さん、松本さんは、平成29年1月に人権擁護委員に就任し、今回で3期目になります。また、菊池さんは今回新たに人権擁護委員に就任しました。3人の委員の任期は、令和5年4月1日から令和8年3月31日までです。

**「みんなの人権110番」**

人権擁護委員が人権相談に応じます。相談は無料で、秘密は守ります。気軽に相談ください。

みんなの人権110番  
☎0570(003)110  
最寄りの法務局につながります。

**人権擁護委員は、いつでもあなたの相談に応じます。**

町では次の人権擁護委員が在籍しています。

津留武芳さん（杉水）  
樋口良久さん（陣内）  
松本晴美さん（室）  
江原よね子さん（大津）  
緒方郁子さん（室）  
菊池英二さん（大津）

左から菊池英二さん 松本晴美さん 樋口良久さん

**おおづのしごと** vol.45  
大津町企業連絡協議会

**株式会社 中九州クボタ**  
～活人耕志～  
「社員とお客様と地域の発展のために」

本社の全景

玄氣堂の玄米パン

**【企業概要】**

- 所在地 大津町引水789-1
- 業種 卸売業、小売業
- 従業員数 325人
- 事業内容 農業機械と関連商品販売・メンテナンス
- 連絡先 ☎096(293)1345
- ホームページ

中九州クボタ

玄氣堂

株式会社 中九州クボタ

代表取締役社長 西山 忠彦さん

私たち中九州クボタは、国内の主要な食糧供給基地となる熊本と大分に営業所41カ所、大型サービスセンター9カ所の50拠点を擁し「活人耕志」の理念の元、顧客第一を旨とし、全社一丸となって社員とお客様と地域の発展のために邁進しております。最近のトピックスとしては、今年2月に熊本県との県境近く、大分県竹田市に大型サービスセンター「阿蘇久住サービスセンター」を竣工しました。敷地面積は約1ヘクタールで、事務所と工場、保管庫を備え、スマート農業に利用するRTKアンテナ基地局も設置、隣接して圃場もあり、大型機械のスマート農業に向けた拠点にしていきたいと考えております。また、子会社の熊本玄米研究所では農業振興や食糧自給率向上、米の消費拡大を目指し、「玄米ペースト事業」を推進しております。自社で研究・開発した玄米ペーストを使って、玄米パンや玄米パスタなどの商品を「玄氣堂・大津店舗」で販売中。昨年には新たにグルテンフリーの玄米パスタ3種類と玄米ラーメンも新発売致しました。

くらべてみよう！ **CROSSING CULTURES** SPECIAL

5月21日～31日、大津町の姉妹都市であるアメリカ合衆国ネブラスカ州ヘイスティングズ市から、姉妹都市訪問団が大津町を訪れました。姉妹都市訪問団の受け入れは今回で17回目。高校生10人と大人2人の訪問団は、約2週間町内でホームステイをし、さまざまな日本文化を体験しました。

ホームステイの間、私は訪問団をいろいろな場所に案内し、通訳をしました。大津町、熊本市、そして長崎の原爆資料館など、さまざまな場所を訪れました。生徒たちは多くの質問をし、日本の人々や文化、日本語を理解しようとしていました。彼らはずっと私や役場の人たちにたくさんの質問をしていました。大津高校と翔陽高校を訪問した時は、生徒たちと一緒にさまざまな授業などに参加し、友だちを作ろうという気持ちがとても伝わってきました。日本人の生徒から学んだり、日本人の生徒にアメリカの文化や英語を教えようとしたり、とても充実した交流ができました。

1995年以来、金田町長をはじめ、このホームステイプログラムに参加されている人はたくさんいます。このつながりは、両国の多くの学生が他国を理解することの大切さや国際的な友好関係を見出すことができたという意味で、とても特別なものです。大津町とヘイスティングズ市が、強く友好的な姉妹都市を維持しながら、これからもともに繁栄していくことを願っています。

▲翔陽高校の生徒と一緒に折り紙に挑戦する訪問団

▲本田技研工場見学で通訳をするオースティンさん